

消化管における SSTR2 発現プロファイルと SSA 製剤の投与意義

座長：伊藤 鉄英 (福岡山王病院 脾臓内科・神経内分泌腫瘍センター／国際医療福祉大学 医学部 消化器内科)

- MS1** 消化管神経内分泌腫瘍 (GI-NET) における SSTR2 の発現動態：腫瘍細胞の増殖動態、発生部位、ソマトスタチンアナログの治療効果との関係 22
 笹野 公伸¹⁾、渡邊 裕文²⁾、藤島 史喜²⁾、工藤 篤³⁾
 1) 東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野、2) 東北大学病院 病理部、3) 東京医科歯科大学病院 肝胆脾外科
- MS2** 消化管神経内分泌腫瘍の治療戦略 24
 平野 秀和
 国立がん研究センター中央病院 消化管内科

共催：帝人ファーマ株式会社／帝人ヘルスケア株式会社

NEN 診療の未来

座長：今村 正之 (関西電力病院)

座長：細野 眞 (近畿大学医学部放射線医学教室)

- S-1** 神経内分泌腫瘍に対する核医学画像診断～⁶⁸Ga 標識 DOTATOC を用いた PET/CT を中心に～..... 26
 子安 翔、志水 陽一、中本 裕士
 京都大学医学部附属病院 放射線部
- S-2** PRRT の将来 28
 李 在俊、細野 眞
 近畿大学病院放射線医学部門放射線腫瘍学部門
- S-3** NET G3 and perspectives on NEN pathology..... 30
 笠島 敦子
 ミュンヘン工科大学病理学
- S-4** ACTH-producing neuroendocrine tumors; an up-date
 Günter Klöppel
 Consultation Center for Pancreas and Endocrine Tumors Department of Pathology, Technical University Munich

進化する GEP-NET の集学的治療 ～ Where we are and where we go ～

座長：市川 靖史 (横浜市立大学大学院 医学研究科がん総合医科学)

- LS1** 放射線治療病室における PRRT 実施の現状と放射線治療病室が有する課題について 32
稲木 杏吏
金沢大学附属病院 核医学診療科
- LS2** 特別措置病室を用いたルタテラ® 治療の導入と病棟運用のポイント 34
高野 祥子
横浜市立大学大学院医学研究科 放射線治療学
- LS3** PRRT を含む GEP-NET の内科的治療戦略 36
森實 千種
国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科／希少がんセンター
- LS4** 当院における PRRT の現状と国内における PRRT の今後の展望 38
小林 規俊、佐藤 元一、福井 梨沙、大久保 直紀、鈴木 章浩、徳久 元彦、市川 靖史
横浜市立大学大学院医学研究科 がん総合医科学

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

膵臓学における新たな地平と NEN

座長：竹山 宜典 (近畿大学 医学部・大学院医学研究科 外科学教室 肝胆膵部門)

- SS1-1** 膵疾患に対する内視鏡診断・治療の最前線 40
竹中 完、高島 耕太、田中 秀和、福永 朋洋、吉田 晃浩、山崎 友祐、大本 俊介、三長 孝輔、鎌田 研、工藤正俊
近畿大学医学部附属病院 消化器内科
- SS1-2** 膵 NEN に対する外科治療と集学的治療 42
増井 俊彦
倉敷中央病院 外科

共催：ヴィアトリス製薬株式会社

NET 最前線を踏まえてこれからの治療を再考する

座長：笹野 公伸 (東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野)
上本 伸二 (滋賀医科大学)

- SS2-1** 膵神経内分泌腫瘍における新規話題と治療戦略 44
脇岡 範
国立がん研究センター中央病院 肝胆膵内科
- SS2-2** 集学的治療における外科治療の役割 46
工藤 篤
東京医科歯科大学病院

共催：ファイザー株式会社／ノーベルファーマ株式会社

消化管 NEN

座長：河本 泉（関西電力病院 消化器外科）

- P1-1** 自己免疫性胃炎に合併した胃神経内分泌腫瘍の臨床病理学的特徴と長期予後
～多施設共同研究結果から 50
鎌田 智有¹⁾、藤崎 順子²⁾、佐藤 祐一³⁾、石戸 謙次⁴⁾、藏原 晃一⁵⁾、八尾 隆史⁶⁾、海崎 泰治⁷⁾、千葉 勉⁸⁾、
緒方 晴彦⁹⁾、春間 賢¹⁰⁾
1) 川崎医科大学 健康管理学、2) がん研究会有明病院 上部消化管内科、
3) 新潟医療センター 消化器内科、4) 北里大学医学部 消化器内科学、5) 松山赤十字病院 胃腸センター、
6) 順天堂大学 人体病理病態学、7) 福井県立病院 病理診断科、8) 関西電力病院、9) 慶応義塾大学病院 内視鏡センター、
10) 川崎医科大学 総合内科学 2
- P1-2** 当院の十二指腸神経内分泌腫瘍に対する手術療法の治療成績 50
多代 尚広、河本 泉、林 健二郎、上殿 伶奈、置塩 達也、稲本 道、吉澤 淳、清地 秀典、滝 吉郎、今村 正之
関西電力病院 外科
- P1-3** 直腸神経内分泌腫瘍における PAX6 を用いた臨床病理学的発現検討 51
稲見 季香¹⁾、久保 佑樹²⁾、花岡 まりえ³⁾、赤星 径一⁴⁾、工藤 篤⁴⁾、絹笠 祐介³⁾、岡本 隆一⁵⁾、田邊 稔⁴⁾、
山本 浩平⁶⁾
1) 東京医科歯科大学医学部医学科 6 年 / 医歯学総合研究科包括病理学分野、
2) 東京医科歯科大学医学部医学科 5 年 / 医歯学総合研究科包括病理学分野、
3) 東京医科歯科大学医歯学総合研究科 消化器外科学分野、
4) 東京医科歯科大学医歯学総合研究科 肝胆膵外科学分野、5) 東京医科歯科大学医歯学総合研究科 消化器病態学分野、
6) 東京医科歯科大学医歯学総合研究科包括病理学分野 / 人体病理学分野

膵 NEN1

座長：奥坂 拓志（国立がん研究センター中央病院）

- P2-1** 膵神経内分泌腫瘍の G1 と G2 における、EUS-FNA 検体と外科切除検体の grading の一致率の
検討 52
高橋 幸治、遠山 翔大、山田 奈々、杉原 地平、大内 麻愉、菅 元泰、永瀧 裕樹、飯野 陽太郎、大山 広、大野 泉、
加藤 直也
千葉大学 消化器内科
- P2-2** EUS-FNA にて診断された印環細胞様の形態を示す膵 amphicrine carcinoma の 1 例 52
渡邊 裕文¹⁾、藤島 史喜¹⁾、山崎 有人¹⁾、三浦 晋²⁾、大槻 泰史³⁾、古川 徹⁴⁾、笹野 公伸¹⁾、鈴木 貴¹⁾
1) 東北大学病院病理部、2) 東北大学病院消化器内科、3) 東北大学病院腫瘍内科、
4) 東北大学大学院医学系研究科病態病理学分野
- P2-3** 膵神経内分泌腫瘍における領域リンパ節郭清の意義 53
畑 七々子、高木 弘誠、榎田 祐三、吉田 龍一、藤 智和、安井 和也、木村 次郎、三島 顕人、大倉 友博、八木 孝仁、
藤原 俊義
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科

座長：海野 倫明（東北大学病院 肝胆膵外科・胃腸外科 消化器外科学分野）

多発肝転移を伴う膵体尾部 NET に対する原発巣切除術後に傍腫瘍神経症候群を呈した 1 例 54
青木 佑磨¹⁾、土川 貴裕²⁾、中西 喜嗣¹⁾、浅野 賢道¹⁾、野路 武寛¹⁾、中村 透¹⁾、竹内 啓³⁾、長井 梓⁴⁾、
矢部 一郎⁴⁾、平野 聡¹⁾

1) 北海道大学大学院医学院・医学研究院 消化器外科学教室 II、2) 北海道大学病院 神経内分泌腫瘍センター、
3) 北海道大学病院 腫瘍内科、4) 北海道大学病院 脳神経内科

当教室で経験したインスリノーマ切除症例の臨床病理学的検討 54
藤井 正和¹⁾、土川 貴裕^{1,3)}、竹内 啓^{2,3)}、田中公貴¹⁾、松井 あや¹⁾、中西 喜嗣¹⁾、浅野 賢道¹⁾、
野路 武寛¹⁾、倉島 庸¹⁾、海老原 裕磨¹⁾、村上 壮一¹⁾、中村 透¹⁾、七戸 俊明¹⁾、平野 聡¹⁾

1) 北海道大学大学院 医学研究院 消化器外科学教室 II、
2) 北海道大学大学院 医学研究院 内科系部門内科学分野 腫瘍内科学教室、3) 北海道大学病院 神経内分泌腫瘍センター

膵神経内分泌腫瘍術後肝再発例に対する病理学的因子の検討 55
篠原 良仁、土川 貴裕、中西 喜嗣、浅野 賢道、海老原 裕磨、倉島 庸、村上 壮一、野路 武寛、中村 透、七戸 俊明、
平野 聡

北海道大学大学院医学研究科 消化器外科学教室 II

座長：立野 沙織（近畿大学医学部放射線医学教室放射線腫瘍学部門）

PRRT が奏功した血糖コントロール困難なインスリノーマの 1 例 56
孝田 博輝¹⁾、武田 洋平¹⁾、山下 太郎¹⁾、斧山 巧¹⁾、深谷 健二²⁾、松澤 和彦²⁾、仁科 慎一³⁾、板坂 聡⁴⁾、
磯本 一¹⁾

1) 鳥取大学医学部附属病院 消化器・腎臓内科、2) 鳥取大学医学部附属病院 内分泌代謝内科、3) 倉敷中央病院 腫瘍内科、
4) 倉敷中央病院 放射線治療科

Peptide Receptor Radionuclide Therapy (PRRT) が奏効した卵巣神経内分泌腫瘍の 1 例 56
佐藤 元一、小林 規俊、大久保 直紀、福井 梨沙、鈴木 章浩、徳久 元彦、市川 靖史
横浜市立大学附属病院 臨床腫瘍科

当院における切除不能神経内分泌腫瘍 (NEN) に対するペプチド受容体放射線核種療法 (PRRT) の
現状 57
岡本 浩平¹⁾、肱岡 範¹⁾、伊藤 公輝²⁾、諸岡 都²⁾、平野 秀和³⁾、本間 義崇³⁾、下井 辰徳⁴⁾、後藤 悌⁵⁾、
森實 千種¹⁾、奥坂 拓志¹⁾

1) 国立がん研究センター中央病院肝胆膵内科、2) 同放射線診断科、3) 同頭頸部・食道内科、4) 同腫瘍内科、
5) 同呼吸器内科

ルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘン病院における神経内分泌腫瘍に対する核医学治療
近畿大学病院におけるルタテラ治療 57
李 在俊¹⁾、吉田 修平²⁾、福田 隼己¹⁾、立野 沙織¹⁾、植原 拓也¹⁾、稲田 正浩¹⁾、坂口 健太²⁾、土井 啓至¹⁾、
中松 清志¹⁾、細野 眞¹⁾、西村 恭昌¹⁾

1) 近畿大学病院放射線医学教室放射線腫瘍学部門、2) 近畿大学病院 中央放射線部

膵 NEN3

座長：藤森 尚 (九州大学病院 肝臓・膵臓・胆道内科)

- P5-1** 非機能性膵神経内分泌腫瘍に対する腫瘍核出術の至適適応 58
 笠井 洋祐¹⁾、増井 俊彦¹⁾、Eric K. Nakakura²⁾、穴澤 貴行¹⁾、長井 和之¹⁾、高折 恭一³⁾、
 Emily K. Bergsland⁴⁾、波多野 悦朗¹⁾
 1) 京都大学 肝胆膵・移植外科、2) カリフォルニア大学サンフランシスコ校 外科、3) 市立長浜病院 外科、
 4) カリフォルニア大学サンフランシスコ校 内科
- P5-2** 当院で経験した機能性膵神経内分泌腫瘍の臨床的検討 58
 村上 正俊¹⁾、藤森 尚¹⁾、小森 康寛²⁾、木村 弥成子²⁾、大野 彰久¹⁾、松本 一秀¹⁾、寺松 克人¹⁾、植田 圭二郎²⁾、
 伊藤 鉄英³⁾、小川 佳宏¹⁾
 1) 九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学、2) 九州大学病院 肝臓・膵臓・胆道内科、
 3) 福岡山王病院 膵臓内科・神経内分泌腫瘍センター / 国際福祉医療大学大学院医学研究科 消化器内科
- P5-3** 糖尿病の急激な悪化と糖尿病性ケトアシドーシスを来した膵原発
 mixed neuroendocrine non-neuroendocrine neoplasm(MiNEN) の一例 59
 田中 マリ子¹⁾、高山 敬子¹⁾、齊藤 里美¹⁾、大塚 奈央¹⁾、赤尾 潤一¹⁾、田原 純子¹⁾、徳重 克年¹⁾、樋口 亮太²⁾、
 伊藤 泰斗³⁾、古川 徹³⁾
 1) 東京女子医科大学病院 消化器内科、2) 東京女子医科大学病院 肝胆膵外科、
 3) 東北大学大学院医学系研究科病態病理学分野
- P5-4** 当科における非機能性膵神経内分泌腫瘍の術前診断と治療についての検討 59
 三浦 峻¹⁾、井手野 昇¹⁾、仲田 興平¹⁾、中村 聡¹⁾、阿部 俊也¹⁾、池永 直樹¹⁾、藤森 尚²⁾、中村 雅史¹⁾
 1) 九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科学教室
 2) 九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学教室

膵 NEN4

座長：青木 琢 (獨協医科大学 肝・胆・膵外科)

- P6-1** 膵原発 NET との鑑別が必要であった十二指腸 NET 異時性リンパ節再発の一例 60
 余語 覚匡¹⁾、増井 俊彦²⁾、笠井 洋祐¹⁾、穴澤 貴行¹⁾、長井 和之¹⁾、波多野 悦朗¹⁾
 1) 京都大学 肝胆膵・移植外科、2) 倉敷中央病院 外科
- P6-2** 膵神経内分泌腫瘍 EUS-FNAB 検体に対する組織透明化・3D 画像解析技術を併用した
 Ki-67index 評価方法の検討 60
 池田 恵理子¹⁾、丹波 美織²⁾、佐野 直樹²⁾、田中 麻美³⁾、小野寺 宏³⁾、福嶋 敬宜²⁾
 1) 自治医科大学 内科学講座消化器内科部門・病理診断部、2) 自治医科大学 病理診断部、
 3) 東京大学理学部 フォトサイエンス研究機構
- P6-3** 膵腫瘍性病変の鑑別診断における Detective flow imaging(DFI) の有用性について 61
 大本 俊介、竹中 完、工藤 正俊
 近畿大学病院 消化器内科

基礎・臨床研究

座長：平野 聡 (北海道大学大学院医学院 医学研究院 消化器外科学教室Ⅱ)

- P7-1** 混合型神経内分泌腫瘍 (MiNEN: Mixed neuroendocrine non-neuroendocrine neoplasm) 患者における腫瘍微小環境の検討 62
角掛 純一¹⁾、藤島 史喜²⁾、渡邊 裕文²⁾、海野 倫明¹⁾、亀井 尚¹⁾、笹野 公伸²⁾
1) 東北大学病院 総合外科、2) 東北大学病院 病理部
- P7-2** INSM1 expression in mammary carcinomas with neuroendocrine morphologies: application and future prospective 62
川崎 朋範¹⁾、田島 知明¹⁾、藤本 章博¹⁾、中村 泰大¹⁾、宇佐見 陽子¹⁾、村松 千左子²⁾、榎本 篤³⁾、齋藤 正夫⁴⁾、近藤 哲夫⁴⁾、各務 博¹⁾、解良 恭一¹⁾
1) 埼玉医科大学国際医療センター 包括的がんセンター 病理診断科、2) 滋賀大学 データサイエンス学部、3) 名古屋大学 医学系研究科、4) 山梨大学 大学院総合研究部
- P7-3** Clinical utility of the NETest for neuroendocrine tumors in the Japanese patient cohort 63
土川 貴裕¹⁾、Mark Kidd²⁾、武内 慎太郎¹⁾、藤井 正和¹⁾、Irvin M Modlin³⁾、平野 聡¹⁾
1) 北海道大学医学研究院消化器外科学教室Ⅱ、2) Wren laboratories LLC, USA、3) Gastroenterological and Endoscopic Surgery, Yale University School of Medicine, USA